

あけまして  
おめでとうございます!



令和3年1月1日発行 No. 215  
編集・発行 事務局・広報部  
<http://suitashi-danshukai.net>

★T Sさんが12月1日、吹田支部に入会されました。みなさんよろしくお祈りします★

## 新年のご挨拶

新しい年が始まりました。  
昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、日本中と言わず世界中が過去に無い程の災難にふり回されました、現在も依然として収束の目処も見えない状況が続いています。

一時期、例会場の確保が出来無い事がありました、今後も状況によって例会の開催が出来ない可能性はありますが、断酒会の基本の断酒例会は何としても継続していかねばならないと考えています。会場の変更、確保手続き等皆様にはご協力をお願いしますがよろしくお祈りいたします。

断酒会全体としては朋友断酒会の例会への参加自粛、一日研修会、断酒学校、各種講習会等の中止、延期が続きました。吹田市断酒会でも、昨年の最大行事の「創立四十五周年記念大会」の中止、吹田市との共催の「第七回断酒を考える会」も中止という残念な事になりました。

本年こそは、新型コロナウイルス感染症の収束からの終息を願いつつ「断酒会会員、家族が心穏やかに生活継続できますよう、又、酒害に悩み苦しむ酒害者、関係者を一人でも減らせる活動を継続出来よう」健康に留意して、各個人できる範囲で出来るだけ活動して行きたいと考えていますので、断酒会活動へのご協力も宜しくお祈りします。

まだまだ、コロナウィルス感染症の収束が見えたわけではありませんが、今日まで続けて来た予防対策を継続して行けば、それほど恐れる必要も無いように思われます、気の緩みだけには留意して自粛、自粛で気持まで萎縮しないよう本年も、基本の断酒継続があつての穏やかな生活がある事を心して「一日断酒」を継続して行きたいと思ひます。

皆様のご多幸、ご健勝を祈念して新年のご挨拶いたします。

本年もどうぞよろしくお祈り致します。

吹田市断酒会 会長 辻本 武

## 新年、私のひとこと

みなさまのご協力、ありがとうございます。

(五十音順、敬称略)

◆ 昨年は、新型コロナウイルスで例会もままならなかった。私にとっては、断酒の危機でした。記念大会等もいっさいなかった。今年は、落ち着きたいと思っています。  
(吹田・本人)

◆ 今年はとにかく変化の多い一年でした。コロナ禍の中で母親の入院から始まって変化が多すぎました。母親の看病に追われながら断酒を継続できたので、人生一度限り楽しくすごしましょう。  
(吹田・本人)

◆ 私は、この一年をお酒を飲まない一年にしたいと思っています。  
(吹田・本人)

◆ 今年も飲まずに年が越せそうです。一年一年積みかさねてすごしていきます。ありがとうございます。  
(吹田・本人)

◆ コロナであけ、コロナで閉める一年でした。人の活動で広がったウィルス。面会も葬儀も不可の災禍。原発事故、温暖化、氣候変動の不安の中、酒を止め続ける意味を考え、ともかく自助で生きぬくしかない。仲間とともに。  
(吹田・本人)

◆ 家族として断酒会に行くのは少し気が重たい。色々なことを思い出してしまうから。でも断酒継続の力になるのなら、たまには行こうと思っている。時々出席で今年もよろしくお祈りします。  
(南千里・家族)

◆「報恩」はまだなのですが、「反省」「感謝」だけは忘れずに、今日一日をたいせつに、前向きに。  
(南千里・本人)

◆明けましておめでとうございます。昨年は断酒七年の表彰を受けました。次のステップ断酒十年に向けて挑戦します。今はすっかり元気になり、ヘボ将棋を楽しんでいます。毎日が平穩で、趣味を楽しめるほど、幸福なことはありません。  
(南千里・本人)

◆コロナ禍の厳しい一年でしたが夫婦共に元気で新年を迎えられた事は、七年前に断酒会につながって、飲まない日々が日常になったからだ、断酒会と仲間の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。例会にはなかなか参加できませんが、今年もよろしく願います。  
(南千里・家族)

◆一日一日を大切に、充実した日を送れるように頑張ります。  
(南千里・本人)



(辻本武会長作の竹細工)

◆私は、趣味として酒を飲み続けました。普段のみが、一人で飲んでいることが普通だと思っていました。体にも酒害が出るまで飲み続けたので、断酒を一年継続して二年、三年と続ける決意で頑張ります。  
(吹田・本人)

◆素心、素直に聞き、素直に受け、素直に行え。  
どこまで出来るか分かりませんが、努力します。  
(吹田・本人)

◆コロナ禍で大変な一年でしたが、今年は平穩な年となりますよう、体に気をつけて、今年もガンバリたいと思います。  
(吹田・家族)

◆今年は古希をむかえる。現代では稀でなく多数となったが、節目の年齢でもあり「断酒」無くしては経験できなかった年齢として意識したい。これからは一つ一つの事柄を大事に大切に生きていきたい。  
(南千里・本人)

◆酒の自粛に加えコロナによる行動制限の一年。丑年は例会制限の無い年になります。  
(吹田・本人)

◆世界中がコロナウイルスで大変だけど、笑顔を忘れず一日断酒に努めます。  
(南千里・本人)

◆今年も一年、コロナに負けないで断酒  
(南千里・本人)

◆明けましておめでとうございます。主人のお酒、止め続けていけるのは断酒会に通い続ける、生涯かけてなくてはならない場所。これからよろしく願います。  
(南千里・家族)

◆断酒会のおかげで新年を迎えることが出来ました。今年もよろしく願います。  
(南千里・本人)

◆八十路へと 続く旅路の一里塚 険しき一歩は「先憂後楽」と  
(南千里・本人)

◆コロナに負けず、一日断酒を頑張ります。  
(吹田・本人)

#### 断酒会規範

### 九 断酒会は会費によって運営される。但し補助金、善意の寄附金等を受けることができる。

断酒会は酒害者による酒害者のための組織であるという認識が、どんなに重要なものであるかをわれわれは知った。この言葉の持つもっとも重いものは、断酒会は断酒会員の主体性のある運営によるものでなければならないということである。従って、断酒会の運営に必要な経費はわれわれの支払う会費によって賄(まかな)わなければならない。そして、われわれの支払う会費は会の運営に役立つだけでなく、自分自身に大きな収穫となって還元される。

価値のあるものに金を支払い、ないものには支払わないのが人間の法則である。われわれが会費を支払うのは、断酒会があるからこそ自分の断酒があるのだという、もう絶対的ともいえる価値観を断酒会に持っているからである。

《後略》

